

# 業 務 概 要

令和 6 年度

高知県立精神保健福祉センター

## 精神保健福祉センターの特色と令和6年度の重点目標

### 1. 精神保健福祉センターの事業の概要

#### A. 企画立案

高知県の精神保健医療福祉を推進していくために、主管課である障害保健支援課をはじめ、子ども・福祉政策部や健康政策部の関係各課や福祉保健所、市町村などと広く連携を取り、専門的立場から助言・提言する。

#### B. 技術指導及び技術援助

障害保健支援課や福祉保健所等と協働して重層的に市町村の精神保健医療福祉を支援していく。自殺やひきこもり、依存症対策の問題を含む県民の心の健康に関する課題に取り組み、地域における相談支援活動を充実させるために福祉保健所、市町村等に技術支援していくとともに多機関とも連携・協働し、事業展開を進める。

#### C. 人材育成

相談支援技術の向上のための研修を行っていく。事例検討会や事業検討会をとおして、福祉保健所や市町村の関係職員、医療機関や民間団体等に対して相談支援活動のスキルアップを図っていく。また、学生教育・学生実習等にも協力していく。

#### D. 普及啓発

精神保健福祉に関する講演会等の実施、ホームページやパンフレットの作成等、工夫を凝らした広報活動を展開していくとともに、福祉保健所、市町村等が行う普及啓発活動に対して協力、指導及び援助を行う。

#### E. 調査研究

精神保健福祉活動を推進するため、県内や他の都道府県、国の情報を収集整備し、高知県の地域精神保健福祉活動が効果的に展開できるように努める。

#### F. 精神保健福祉相談

県民からの様々な精神保健医療福祉に関する専門的な面接相談、電話相談を受け、特に複雑困難な相談への対応を行う。

#### G. 組織育成

精神障害者家族会、断酒会等各種自助グループへの支援や連携を推進する。ボランティアや関係専門機関との連携・協働を図っていく。自死遺族の集いやひきこもりの親の会等への支援を行っていく。

#### H. 精神医療審査会の審査に関する事務

精神医療審査会に関する事務を行う。退院等の請求についても、審査の客観性、独立性を確保できる体制を整える。

#### I. 自立支援医療（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定、自立支援医療（精神通院）の支給認定、及び手帳・受給者証の交付業務を行う。

## 2. 令和6年度の精神保健福祉センターの重点目標

「日本一の健康長寿県構想」を基本として、県民の心の健康問題に取り組み、県民の精神保健福祉の向上を目指す。地域精神保健福祉の技術的中核機関として、福祉保健所や市町村等に対して技術指導・技術援助を行う。自殺対策推進センター、ひきこもり地域支援センターの事業を行い、県内の自殺対策、ひきこもり対策の充実を図るとともに、依存症相談拠点として、アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症対策を推進していく。

また、南海トラフ地震等の災害等に関するこころのケア等の支援を障害保健支援課と連携して推進していく。

令和6年度は特に以下のことを重点として取り組んでいく。

### (1) ひきこもりの人への支援の充実（ひきこもり地域支援センター事業）

- ・市町村における相談支援体制の充実
- ・ひきこもり支援従事者等の人材の育成
- ・ひきこもりの理解促進のための普及啓発の充実
- ・ひきこもり本人や家族等への支援の充実

### (2) 自殺予防対策の推進（自殺対策推進センター事業）

- ・地域の特性に応じた取組の推進及びネットワークの連携・強化
- ・自殺予防のための相談・支援の充実
- ・妊産婦、若年層、自殺未遂者等のハイリスク層への支援の充実
- ・遺族等へのケアと支援施策の充実

### (3) 依存症（アルコール、薬物、ギャンブル等）対策の推進

- ・依存症の理解促進のための普及啓発
- ・相談支援体制の充実
- ・多機関（教育・保健・医療・警察・自助グループ等）との連携

### (4) 地域精神保健福祉活動

- ・各福祉保健所・市町村との連携、技術支援・技術指導の強化
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けての技術支援
- ・南海トラフ地震等の災害等に関するこころのケア等の支援

## 目 次

|    |                           |    |
|----|---------------------------|----|
| 第1 | 沿革                        | 1  |
| 第2 | 組織及び職員                    | 1  |
| 第3 | 業務・事業の執行状況                | 4  |
| 1  | 技術支援及び技術指導・関係機関相談         | 4  |
| 2  | 教育研修                      | 5  |
| 3  | 普及啓発                      | 6  |
| 4  | 学会発表・調査研究                 | 6  |
| 5  | 精神保健福祉相談・心の健康相談           | 6  |
| 6  | 組織育成・活動支援                 | 8  |
| 7  | 精神医療審査会                   | 9  |
| 8  | 自立支援医療（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳 | 9  |
| 9  | ひきこもり対策（ひきこもり地域支援センター事業）  | 11 |
| 10 | 自殺対策（自殺対策推進センター事業）        | 15 |
| 11 | 依存症対策（依存症相談拠点事業）          | 20 |
| ○  | 令和6年度 精神保健福祉センター予算の概要     | 24 |

## 第1 沿革

昭和 34 年 8 月 中央保健所内に高知県精神衛生相談所を併設する。

昭和 48 年 4 月 精神衛生センターを高知県保健衛生総合庁舎に開設する。

昭和 63 年 7 月 精神保健法への改正に伴い、精神保健センターに名称を変更する。

平成 7 年 7 月 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律への改正に伴い、精神保健福祉センターに名称を変更する。

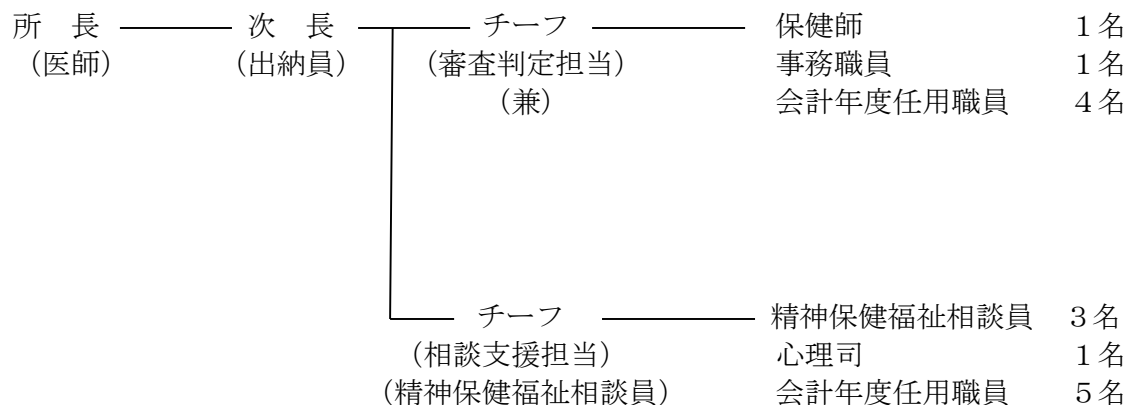
平成 21 年 4 月 自殺予防情報センター事業及びひきこもり地域支援センター事業を開始する。

平成 29 年 4 月 自殺予防情報センター事業を廃止し、自殺対策推進センター事業を開始する。

平成 30 年 4 月 精神保健福祉センターに依存症相談拠点を設置する。

## 第2 組織及び職員

令和 6 年 4 月 1 日現在



### 第3 業務・事業の執行状況（令和5年4月1日～令和6年3月末日）

#### 1 技術支援及び技術指導・関係機関相談

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町村、及び関係諸機関に対し、専門的立場から技術指導及び援助を行った。また、電話や来所等により関係機関からの相談に対し、技術協力を含め対応した。

| 関係機関・領域                                                    | 回数   | 内容                                                               |
|------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------|
| 福祉保健所<br>高知市保健所                                            | 61   | ケース会議、業務検討会、ネットワーク会議、関係機関相談、研修講師等                                |
| 市町村                                                        | 166  | ケース会議、ネットワーク会議、関係機関相談、研修講師等                                      |
| 医療施設                                                       | 45   | 関係機関相談、研修講師                                                      |
| 障害者支援施設                                                    | 1    | ケース会議、関係機関相談                                                     |
| 社会福祉施設                                                     | 8    | ケース会議、関係機関相談                                                     |
| 各種委員会委員等                                                   | 21   | 日本自殺総合対策学会地域理事、ひきこもりの人等に対する支援のあり方に関する検討委員会、高知県保健医療計画精神疾患分野検討会委員等 |
| その他関係機関・団体<br>（大学・高等学校等教育機関、被害者支援センター・産業保険推進センター等関係相談機関ほか） | 203  | ケース会議、関係機関相談                                                     |
| 講演、教育機関講師<br>（※再掲）                                         | (73) | 大学講義、自殺対策関連研修、ひきこもりに関する研修会、関係職員研修会、メンタルヘルス研修会等                   |
| 合計                                                         | 578  |                                                                  |

## 2 教育研修

### (1) 令和5年度地域精神保健福祉推進事業

#### ア 「WRAP（らっぷ）クラス」

精神面での困難を経験する人たちのグループによって作られた WRAP（元気回復行動プラン）は、自分で自分の元気に役立つことを見つけ出し、それらの道具を使って辛さを和らげ、元気であることができるものである。

WRAP クラスでは、当事者、支援機関職員等を対象に、WRAP を通して参加者の中の元気に焦点をあて、それぞれの社会参加の促進を目的として実施した。

| 日時・会場                                                                                   | 内 容                                                                                                                                                           | 受講者数       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 令和5年11月17日（金）<br>11月24日（金）<br>12月1日（金）<br>12月8日（金）<br>13:30～16:00<br>保健衛生総合庁舎<br>1階大会議室 | 講義及び演習<br>・ WRAP の概要・元気に大切な5つのこと。<br>・ 日常生活管理プラン①<br>～元気に役立つ道具箱～<br>・ 日常生活管理プラン②<br>～引き金・注意サイン～<br>・ 調子が悪くなっているとき・クライシス・<br>ポストクライシス<br>講師 WRAP 公認ファシリテーター 2名 | 33名<br>(延) |

### (2) 思春期精神保健事業

#### ア 思春期精神保健事例検討会及び講演会

思春期の子ども及び保護者に関わる自治体の支援者（保健師等）や関係機関の職員を対象に、発達障害や心の問題など様々な生きづらさを抱える子ども・青年への理解と支援に関する学びを深めるため、県外講師を招聘し事例検討会及び講演会を実施した。

| 日時・会場                                                | 内 容                                                                                                               | 受講者数        |
|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 令和6年3月25日（月）<br>10:00～12:00<br>ちより街テラス 3階<br>会議室3    | 事例検討会（2事例）<br>スーパーバイザー<br>あなはクリニック<br>オリブ山病院児童思春期外来<br>心理治療施設ノアズガーデン診療所<br>児童精神科医 滝川 一廣 氏                         | 8名<br>(4機関) |
| 令和6年3月25日（月）<br>14:00～16:00<br>ちより街テラス 3階<br>ちよてらホール | 講演テーマ<br>「思春期のこころのむずかしさにどう寄り<br>そい、支えるか」<br>講師<br>あなはクリニック<br>オリブ山病院児童思春期外来<br>心理治療施設ノアズガーデン診療所<br>児童精神科医 滝川 一廣 氏 | 35名         |

#### イ 思春期精神保健ガイドブック＜第3版＞ 500部増刷～お父さん、お母さんのために～

思春期の子どもたちを支える家族を対象に、子どもの心の発達や思春期を中心としてみられる疾患や精神保健上の課題を有する行動など、またその関わりについて子育ての一助となるよう、また子どもたちや家族を支える支援関係者にも理解や対応に役立てるためにガイドブックを作成した。

(3) 学生実習生の受入れ

| 大 学 名  | 人 数 | 期 間          |
|--------|-----|--------------|
| 高知県立大学 | 2 名 | 7 月（計 12 日間） |

3 普及啓発

ひきこもりの理解促進や自殺予防等について、一般県民や教育関係者等を対象とした精神保健福祉センター主催の講演会や外部機関から依頼のあった講演会、交流会等を行った。

4 学会発表・調査研究

- (1) 令和 5 年度地域保健総合推進事業 「保健所、精神保健福祉センターの連携による、ひきこもりの精神保健相談・支援の実践研修と、地域包括ケアシステムによる市区町村と連携したひきこもり支援に関する研修の開催と検討」 2024 年 3 月
- (2) 令和 5 年度社会福祉推進事業 「ひきこもり支援における支援者支援のあり方に関する研究事業」 2024 年 3 月
- (3) 令和 5 年度構成労働省受託事業 「ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修・広報一式」 2024 年 3 月
- (4) 令和 5 年度社会福祉推進事業 「ひきこもり支援にかかる支援マニュアルの策定に向けた調査研究事業」 2024 年 3 月
- (5) 「地域で人とつながって生きる」 特集 日本精神衛生学会第 38 回大会「社会的孤立と心の健康」より 日本精神衛生学会誌「こころの健康」 第 38 回巻第 1 号
- (6) 令和 5 年度第 58 回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会  
第 22 回日本精神保健福祉士学術集会「いのちつなげる Hope to Life」  
～救急医療と地域の協働実践のなかで MHSW が果たせる役割～ 2023 年 11 月

5 精神保健福祉相談・心の健康相談

(1) 所内相談

(件)

| 年 度 |   | 31    | 2     | 3     | 4     | 5     | (再掲)<br>自殺<br>関連 | (再掲)<br>ひき<br>こもり | (再掲)<br>依存症 |
|-----|---|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------------------|-------------|
| 相談数 | 実 | 506   | 463   | 520   | 531   | 516   | 31               | 146               | 97          |
|     | 延 | 2,181 | 2,091 | 2,230 | 2,328 | 2,474 | 87               | 952               | 390         |

相談来所者及び相談対象者の年齢（実件数）

(件)

| 年齢（歳）      | 0～<br>19 | 20～<br>29 | 30～<br>39 | 40～<br>49 | 50～<br>59 | 60～<br>69 | 70<br>以上 | 不明 | 計   |
|------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----|-----|
| 来所者        | 35       | 90        | 89        | 91        | 104       | 69        | 35       | 3  | 516 |
| (再掲) 自殺関連  | 3        | 7         | 7         | 6         | 6         | 1         | 0        | 1  | 31  |
| (再掲) ひきこもり | 3        | 27        | 31        | 18        | 19        | 26        | 21       | 1  | 146 |
| (再掲) 依存症   | 9        | 17        | 20        | 18        | 23        | 9         | 1        | 0  | 97  |

| 年齢（歳）     | 0～<br>19 | 20～<br>29 | 30～<br>39 | 40～<br>49 | 50～<br>59 | 60～<br>69 | 70<br>以上 | 不明 | 計   |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----|-----|
| 相談の対象者    | 72       | 126       | 116       | 87        | 78        | 28        | 8        | 1  | 516 |
| （再掲）自殺関連  | 7        | 11        | 7         | 1         | 5         | 0         | 0        | 0  | 31  |
| （再掲）ひきこもり | 11       | 49        | 48        | 23        | 11        | 3         | 1        | 0  | 146 |
| （再掲）依存症   | 3        | 17        | 17        | 18        | 23        | 14        | 5        | 0  | 97  |

相談内容の内訳（延相談数 2,474 件）（重複回答）（％）

| 家庭問題 | 治療・医療 | 心の健康問題 | 性格・行動 | 経済問題 | 仕事・勤務 | 学校・教育 | 男女問題 | 社会資源 | その他 | 意見等 |
|------|-------|--------|-------|------|-------|-------|------|------|-----|-----|
| 61.6 | 32.9  | 62.8   | 66.6  | 18.1 | 29.6  | 9.2   | 2.3  | 7.4  | 5.7 | 0.2 |

衛生行政報告による相談目的の分類（延べ件数）（件）

|         | 老人精神<br>保健 | 社会<br>復帰 | アル<br>コー<br>ル | 薬物 | ギャン<br>ブル | ゲー<br>ム | 思 春<br>期 | 心の<br>健康<br>づくり | うつ  | 摂食障<br>害 | てん<br>かん | その他 | 計     |
|---------|------------|----------|---------------|----|-----------|---------|----------|-----------------|-----|----------|----------|-----|-------|
| 実数      | 2          | 67       | 19            | 11 | 37        | 4       | 35       | 199             | 41  | 4        | 0        | 97  | 516   |
| 延べ<br>数 | 21         | 353      | 53            | 39 | 127       | 15      | 113      | 1,040           | 177 | 30       | 0        | 506 | 2,474 |

（２）所内電話相談（延べ件数）（件）

| 年 度 | 31    | 2     | 3     | 4     | 5     | （再掲）<br>自殺<br>関連 | （再掲）<br>ひき<br>こもり | （再掲）<br>依存症 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------------------|-------------|
| 相談数 | 3,281 | 4,659 | 5,181 | 5,165 | 4,549 | 80               | 430               | 286         |

\* 自殺関連相談は平成29年度から、ひきこもり相談は平成31年度から所内電話相談に含む。

\* 依存症相談はアルコール・薬物・ギャンブル依存症、ゲーム障害・摂食障害・その他依存問題を計上

衛生行政報告による相談目的の分類（延べ件数）

（件）

| 老人<br>精神<br>保健 | 社会<br>復帰 | アル<br>コール | 薬<br>物 | ギャン<br>ブル | ゲー<br>ム | 思春<br>期 | 心の<br>健康<br>づくり | うつ  | 摂食<br>障害 | てん<br>かん | その他   | 計     |
|----------------|----------|-----------|--------|-----------|---------|---------|-----------------|-----|----------|----------|-------|-------|
| 40             | 63       | 44        | 30     | 188       | 8       | 52      | 1,674           | 132 | 10       | 0        | 2,308 | 4,549 |

（３）心のテレ相談（延べ件数）

（件）

| 年 度   | 31    | 2   | 3   | 4   | 5   |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 相 談 数 | 1,241 | 856 | 805 | 679 | 705 |

衛生行政報告による相談目的の分類（延べ件数）

（件）

| 老人<br>精神<br>保健 | 社会<br>復帰 | アル<br>コール | 薬<br>物 | ギャン<br>ブル | ゲー<br>ム | 思春<br>期 | 心の<br>健康<br>づくり | うつ | 摂食<br>障害 | てん<br>かん | その他 | 計   |
|----------------|----------|-----------|--------|-----------|---------|---------|-----------------|----|----------|----------|-----|-----|
| 8              | 12       | 1         | 0      | 3         | 0       | 6       | 115             | 33 | 0        | 0        | 527 | 705 |

（４）ロビー面談（延べ件数）：51 件

内訳：老人精神保健 0、社会復帰 1、アルコール 1、薬物 0、ギャンブル 5、ゲーム 0、思春期 0、心の健康づくり 1、うつ 1、摂食障害 0、てんかん 0、その他 42

（５）訪問（同行支援、家庭訪問）：44 件

内訳：老人精神保健 2、社会復帰 9、アルコール 2、薬物 0、ギャンブル 0、ゲーム 0、思春期 1、心の健康づくり 19、うつ 3、摂食障害 1、てんかん 0、その他 7

6 組織育成・活動支援

（１）精神障害者家族会への支援

高知県精神障害者家族会連合会、地域家族会の活動などに当たり、情報提供や助言等の活動支援を行った。

（２）各依存症関連自助グループ・家族会への支援

研修会の講師や日常の活動に当たり、情報提供や助言などの活動支援を行った。

（３）精神保健福祉ボランティア活動支援

高知県精神保健福祉ボランティア連絡協議会の活動に当たり、情報提供や助言、研修会開催への協力等の支援を行った。

（４）その他自助グループの活動支援

その他精神障害者の当事者活動等県内の自助グループの活動に当たり、情報提供や助言等の側面的援助を行った。

## 7 精神医療審査会

精神医療審査会は、昭和 62 年の精神保健福祉法改正の際に、精神障害者の人権に配慮しつつその適正な医療及び保護を確保するために、専門的かつ独立的な機関として中立公正な審査を行うものとして設置された。

業務内容は、精神科病院の管理者からの医療保護入院の届出、措置入院及び医療保護入院の定期病状報告の書類審査、精神科病院に入院中の者又はその保護者などからの退院請求、及び処遇改善請求の審査を行うこととなっている。

その後の法改正により、平成 14 年度から精神医療審査会は、その独立性を保証すること及び専門性を持った職員がその事務を取り扱うことが望ましいことから精神保健福祉センターの業務として位置づけられた。

平成 17 年の精神保健福祉法の改正で、審査会の委員構成の弾力化が図られ、「医療委員 2 名以上、法律委員 1 名以上、その他学識委員 1 名以上」に改正されたことを受け、本県では平成 18 年 10 月から委員構成を「医療委員 2 名、法律委員 1 名、その他学識委員を 1 名から 2 名」に変更した。

また、高知県独自の地域特性と退院請求の円滑化を踏まえ予備委員 8 名を配置している。

### (審査体制)

審査は、委員 24 名を 2 合議体に分けて、1 合議体定数 5 名（医療 2 名、法律 1 名、その他学識委員 2 名）で月 2 回実施している。

### 書類審査件数

| 入院形態          | 措置入院<br>定期病状報告書 | 医療保護入院<br>定期病状報告書 | 医療保護入院届      | 計            |
|---------------|-----------------|-------------------|--------------|--------------|
| 件 数<br>(再審査数) | 21<br>(1)       | 993<br>(2)        | 1,611<br>(3) | 2,625<br>(6) |

\* 審査結果：すべて「現在の入院形態での入院が適当」であった。

### 退院請求等の状況

| 請求件数 | 転帰の内訳 | 件数 |
|------|-------|----|
| 42 件 | 審査実施  | 20 |
|      | 取り下げ  | 7  |
|      | 案件消失  | 10 |
|      | 次年度審査 | 5  |

### 退院請求等審査の内訳（退院請求 20 件＋処遇改善請求 0 件＝20 件）

| 入院形態   | 病 名     | 審査結果             |
|--------|---------|------------------|
| 措置入院   | 3 統合失調症 | 17 現在の入院形態が適当 20 |
| 医療保護入院 | 17 その他  | 3 処遇は適当 0        |

## 8 自立支援医療（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳

精神保健福祉法第 6 条第 2 項第 4 号において、精神障害者保健福祉手帳の交付決定及び精神通院医療の公費負担決定に関する事務及び交付に関する事務のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものを行うことが業務に位置づけられた。

このため、平成 14 年度から精神保健福祉センターで審査判定会を実施することとなった。

平成 16 年度からは専門的な知識、技術を伴う審査判定会にとどまらず、交付にかかる事務全般も行うようになった。

また、平成 17 年 10 月には障害者自立支援法が成立し、精神通院医療の公費負担制度が自立支

援医療（精神通院）になったが、引き続き円滑な審査判定交付事務に努めている。

精神障害者保健福祉手帳についても、引き続き円滑な審査判定交付事務に努めるとともに、福祉サービス拡大に向けて高知県障害保健支援課を中心に関係機関に働きかけている。

（委員の構成）

精神保健指定医 3 名及び所長で構成される。

（判定会実施状況）

年 14 回の開催

（判定の方法）

3 名の委員の合議により行う。

（精神障害者保健福祉手帳交付のための日本年金機構年金事務所等への照会）

判定会の決定の他に障害年金を現に受給している者については、その支給理由及び障害等級を日本年金機構年金事務所等へ照会し、精神障害による傷病と確認できた申請者に年金と同じ等級で精神障害者保健福祉手帳の交付を実施している。

自立支援医療（精神通院）承認及び精神障害者保健福祉手帳交付状況

|              | 自立支援医療<br>(精神通院) | 精神障害者<br>保健福祉手帳 |
|--------------|------------------|-----------------|
| 審 査 件 数 (件)  | 13, 936          | 4, 165          |
| 承認及び交付件数 (件) | 13, 932          | 4, 138          |

自立支援医療（精神通院）承認及び精神障害者保健福祉手帳交付年間推移

| 年度               | 31      | 2      | 3       | 4       | 5       |
|------------------|---------|--------|---------|---------|---------|
| 自立支援医療<br>(精神通院) | 12, 789 | 4, 455 | 12, 498 | 14, 008 | 13, 932 |
| 精神障害者<br>保健福祉手帳  | 3, 401  | 3, 417 | 3, 574  | 3, 909  | 4, 138  |

自立支援医療（精神通院）：県外からの転入、変更、再交付状況

|          | 県外からの転入 | 変更申請   | 記載事項変更<br>市町村処理分 | 再交付 |
|----------|---------|--------|------------------|-----|
| 交付件数 (件) | 85      | 1, 869 | 1, 407           | 144 |

精神障害者保健福祉手帳：県外からの転入、変更、再交付状況

|          | 県外からの転入 | 記載事項変更<br>市町村処理分 | 再交付 |
|----------|---------|------------------|-----|
| 交付件数 (件) | 60      | 422              | 231 |

## 9 ひきこもり対策（ひきこもり地域支援センター事業）

ひきこもり地域支援センターでは、医療・保健・福祉・教育・労働及び市町村等関係機関の連携の強化を図りながら、ひきこもり本人、家族等の支援を行う。

### （１）相談対応の状況

所内相談

|        |      |       |
|--------|------|-------|
| 相談受理件数 |      | 1,382 |
| 内訳     | 来所相談 | 952   |
|        | 電話相談 | 430   |

※来所相談、電話相談は、5 精神保健福祉相談・心の健康相談（１）及び（２）からひきこもりに関する相談数を再掲

主な紹介先

| 若者サポート<br>ステーション | ジョブカフェこうち | 療育福祉センター | 保健所 | 市町村 | 医療機関 | 家族サロン | その他 | 計  |
|------------------|-----------|----------|-----|-----|------|-------|-----|----|
| 1                | 0         | 0        | 3   | 22  | 15   | 1     | 17  | 59 |

訪問（家庭訪問・関係機関同行）

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実件数 | 16                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 延件数 | 28<br><div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">[</span> <div style="text-align: center;">           家庭訪問：17<br/>           関係機関同行：10<br/>           その他：1         </div> <span style="font-size: 2em; margin-left: 5px;">]</span> </div> |

### （２）ひきこもり支援者連絡会議

様々な背景を持つひきこもり本人、家族等を支援する者が、相談内容等に応じた適切な支援を行うため、有効な連携ができることを目的として連絡会議を実施した。

#### ア ブロック別会議

県内を3ブロックに分け、ブロック別に連絡会議を実施した。

| 回 | 日時・会場                                                       | 内 容                                                                                                          | 参加者数 |
|---|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 【西ブロック】<br>令和5年6月8日（木）<br>13:30～16:00<br>四万十町役場東庁舎1階多目的大ホール | （１）高知県地域福祉政策課より事業説明<br>（２）ひきこもり地域支援センターより<br>事業・事例報告<br><br>（３）グループワーク<br>『多様なひきこもり支援<br>～こんなこといいな、できたらいいな～』 | 31名  |

|   |                                                                   |  |     |
|---|-------------------------------------------------------------------|--|-----|
| 2 | 【東ブロック】<br>令和5年6月16日（金）<br>13:30～16:00<br>夜須公民館2階大研修室             |  | 29名 |
| 3 | 【中央ブロック】<br>令和5年6月28日（水）<br>13:30～16:00<br>こうち男女共同参画センターソーレ3階大会議室 |  | 41名 |

（3）関係機関支援（所外）

ア 若者サポートステーションや市町村とのケース検討会（定期実施） 計22回

| 関係機関            | 回数 | 内 容                        |
|-----------------|----|----------------------------|
| こうち若者サポートステーション | 5回 | ケース検討、勉強会、課題整理・検討、支援の振り返り等 |
| 香南市             | 1回 |                            |
| いの町             | 5回 |                            |
| 須崎市             | 3回 |                            |
| 中土佐町            | 2回 |                            |
| 四万十町            | 3回 |                            |
| 幡多福祉保健所管内6市町村   | 3回 |                            |

イ 市町村、関係機関とのケース検討会、勉強会（随時実施） 計18回

| 関係機関                  | 回数  | 内 容                        |
|-----------------------|-----|----------------------------|
| 市町村                   | 7回  | ケース検討、勉強会、課題整理・検討、支援の振り返り等 |
| 高知ひきこもり<br>ピアサポートセンター | 11回 |                            |

ウ 福祉保健所主催の連絡会、研修会、ケース検討会 計8回

| 関係機関  | 回数 | 内 容                               |
|-------|----|-----------------------------------|
| 福祉保健所 | 8回 | 管内市町村対象の連絡会・研修会での話題提供、ケース検討会への出席等 |

（4）ひきこもり支援者人材養成

ア 研修会

ひきこもり本人、家族等の支援に従事する職員等を対象に、ひきこもりの家族支援について学ぶ場と事例検討を通して、ひきこもりに関する理解を深め、支援のスキルの向上を図ることを目的に研修会を実施した。

| 回 | 日時・会場                                                    | 内 容                                                                                                                         | 参加者数 |
|---|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 令和5年9月8日（金）<br>13:00～16:00<br>こうち男女共同参画センター<br>ソーレ3階大会議室 | 高知県ひきこもり地域支援センター作成<br>『ひきこもり支援ガイドブック』を用いた研修<br>講義：『ひきこもりの理解と支援』<br>講師：精神保健福祉センター所長 山崎正雄<br>演習：『グループワークを通して傾聴を学ぶ』<br>ロールプレイ等 | 60名  |
| 2 | 令和5年12月22日（金）<br>13:00～16:00<br>高知城ホール4階多目的ホール           | 講義：『事例研究は援助職の視点と支援を洗練させる～多面的な理解・判断による的確な支援へ向けて～』<br>演習：事例研究を通じた研修（2事例）<br>講師：白梅学園大学名誉教授・NPO法人つながる会代表理事<br>長谷川 俊雄 氏          | 21名  |
| 3 | 令和6年3月8日（金）<br>13:30～16:00<br>四万十町役場東庁舎1階<br>多目的大ホール     | 内容：事例研究を通じた研修（2事例）<br>講師：ひきこもり地域支援センター職員                                                                                    | 24名  |

（5）ひきこもりに関する普及啓発

ア 地域講演会・交流会

様々な立場の者がひきこもりの理解を深め、地域社会の中でのひきこもり支援、若者支援を充実させることを目的として実施した。

| 回 | 日時・会場                                                  | 内 容                                                                                                                                                                                      | 参加者数 |
|---|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 令和5年10月7日（土）<br>15:30～17:00<br>高知県立大学永国寺キャンパス<br>教育研究棟 | つながるフェスタ<br>【トークショー】<br>講師：下田 亮太氏<br>（ひきこもり経験者・WRAPファシリテーター）<br>楠永 洋介氏<br>（ひきこもり経験者・ひきこもり整体師）<br><br>【出張版青年期の集い】<br>（1）DVD上映『みんなピアでえいやんか』<br>（2）グループトーク<br>（3）アクティビティ・マジックショー<br>（4）作品展示 | 74名  |
| 2 | 令和5年12月23日（土）<br>14:00～16:30<br>オーテピア高知図書館4階ホール        | 講演：『社会的孤立問題としてのひきこもりと「つながり」～最適化と自在化という視点から考える～』<br>講師：白梅学園大学名誉教授・NPO法人つながる会代表理事<br>長谷川 俊雄 氏                                                                                              | 64名  |

イ オーテピア連携展示

県民の方々へ、ひきこもりへの理解を促すとともに、ひきこもり支援に関する相談窓口等の周知を行うことを目的に実施した。

| 展示期間・場所                                                    | 内 容                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年9月1日(金)～30日(土)<br>オーテピア高知図書館<br>2階 総合カウンター前<br>展示スペースB | <b>【展示名】</b> 社会に踏み出すことに不安を抱える方へ<br>～ひきこもりに悩んでいませんか～<br>・ひきこもりや不登校に関する書籍の展示<br>・ひきこもり地域支援センターのリーフレット等の配布 |

(6) 居場所づくり支援

ア ひきこもり本人への支援

ひきこもり本人への居場所づくりとしてグループ活動を実施した。

|      |                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的  | ひきこもり状態にある青年や対人関係等で悩みをもつ青年（概ね30代まで）を対象に、同じような悩みや思いを持つ人同士が話をしたり、スポーツ、外出等の様々な活動をしながら、安心して過ごすことで人との関わりに慣れていく場とする。 |
| 内 容  | 創作活動、フリートーク、外出等                                                                                                |
| 開催回数 | 『青年期の集い』47回（毎週水曜日）<br>『青年期の集い女子ミーティング』12回（毎月第4金曜日）                                                             |
| 参加者数 | 延人員 212名<br>『青年期の集い』194名<br>『青年期の集い女子ミーティング』18名                                                                |

イ ひきこもり家族教室

ひきこもりへの理解や家族としての対応等、同じような経験をもつ者同士が一緒に学び、交流することを目的として開催した。

| 回 | 日時・会場                                            | 内 容                              | 参加者数 |
|---|--------------------------------------------------|----------------------------------|------|
| 1 | 令和5年12月4日（月）<br>14:00～16:00<br>保健衛生総合庁舎5階<br>会議室 | （1）精神保健福祉センター所長の講話<br>（2）フリートーク  | 6名   |
| 2 | 令和6年1月15日（月）<br>14:00～16:00<br>保健衛生総合庁舎5階<br>会議室 | （1）人材養成研修の講義資料読み合わせ<br>（2）フリートーク | 3名   |

(7) ひきこもり体験者による個別交流事業

ひきこもり状態にある人が、ひきこもり地域支援センターの相談場面で、個別に同じような体験を持つ人（ピア活動メンバー）の話を聞き、交流を持つことで、新しい気づきを得たり、今後の取組を考える機会となる場を提供するため、ピア活動メンバーとして登録している。

|             |    |
|-------------|----|
| 登録ピア活動メンバー数 | 4名 |
|-------------|----|

(8) 普及啓発・技術支援

ひきこもりに関する講演会、研修会の講師（関係機関職員対象）

|      |    |
|------|----|
| 派遣回数 | 7回 |
|------|----|

(9) ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会関係業務

ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会の会長業務及び事務局業務を中心に、研究協議会にて、高知県ひきこもり地域支援センターの取組に関する活動報告を行った。

| 日時・会場                                           | 内 容                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年10月10日（火）<br>13:00～16:30<br>オーテピア高知図書館4階研修室 | (1) 事業説明等<br>厚生労働省社会・援護局地域福祉課 ひきこもり支援専門官<br>松浦 拓郎 氏<br>(2) 講義「ひきこもりの市町村支援<br>～全国ひきこもり地域支援センターアンケートから～」<br>鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊 氏<br>(3) 報告「市町村におけるひきこもり支援」<br>高知県 いの町ほけん福祉課<br>(4) グループワーク |

10 自殺対策（自殺対策推進センター事業）

平成29年4月1日より高知県自殺対策推進センターを設置。それに伴い、高知県自殺予防情報センターは平成29年3月31日をもって廃止した。

また、令和3年度より主管課から自殺対策推進センターに市町村自殺対策計画の進捗管理業務が移管され、管内福祉保健所と連携を図りながら市町村支援を行うこととなった。

さらに、保健・福祉・医療・労働・教育・警察等関係機関と有機的な連携を図り、自殺に追い込まれることのない地域づくりを推進していくと同時に、地域における相談対応力の向上を目的としたゲートキーパー養成研修等の人材育成事業や若年層対策として推進が求められている「SOSの出し方に関する教育」実施体制及び「若者の自殺危機対応チーム」設置に向けた基盤整備を進めている。

また、R5年7月からは救急医療機関と連携した自殺未遂者支援事業「Hope to Life」の取組を開始し、自死遺族支援とともにハイリスク者支援の強化を図っている。

(1) 相談対応の状況

ア 所内相談

|        |      |     |
|--------|------|-----|
| 相談受理件数 |      | 167 |
| 内 訳    | 来所相談 | 87  |
|        | 電話相談 | 80  |

※来所相談、電話相談は、5精神保健福祉相談・心の健康相談（1）及び（2）から自殺に関する相談数を再掲

主な相談内容の内訳

| 家庭問題 | 健康問題 | 経済問題 | 勤務問題 | 男女問題 | 学校問題 | その他 | 計   |
|------|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 63   | 50   | 5    | 10   | 5    | 9    | 25  | 167 |

主な紹介先

| 福祉事務所<br>(生活保護) | 法律関係 | 消費生活センター | 市町村・福祉保健所 | 医療機関<br>(主治医含む) | その他 | 計  |
|-----------------|------|----------|-----------|-----------------|-----|----|
| 0               | 1    | 0        | 6         | 6               | 4   | 17 |

(2) 自殺・依存症対策ネットワーク会議

地域共生社会の実現に向けた「地域包括ケアシステムの構築とアウトリーチ支援」をテーマに県内先進地域の実践を共有するとともに、医療機関をはじめ地域の様々な関係機関との意見交換や支援連携の促進を目的とした「自殺・依存症対策ネットワーク会議」を開催した。

| 日時・会場                                                 | 内 容                                                                                                                                  | 参加<br>機関数       |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 令和5年<br>5月31日(水)<br>14:00~16:30<br>ちより街テラス<br>ちよテラホール | 1 高知県の現状及び自殺・依存症対策の取組(障害保健支援課)<br>2 精神保健福祉センターの相談状況と事業説明<br>3 高幡地域のアウトリーチ支援事業(須崎福祉保健所・管内精神科医療機関及び市町村)<br>4 グループワーク<br>5 各関係機関による情報提供 | 40 機関<br>(52 名) |

(3) 人材育成研修 (地域自殺対策強化事業)

ア 自殺予防ゲートキーパー養成研修実施者テキスト実践活用のためのワークショップ

研修を具体的に進めるための手引き「ゲートキーパー養成研修実施者テキスト」を活用しながら、地域においてゲートキーパー養成研修を幅広く実施してもらえるよう実践活用のためのワークショップを開催した。

| 日時・会場                                             | 内 容                                                                                               | 参加者数                                                                               |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和5年<br>7月26日(水)<br>13:30~17:00<br>高知城ホール<br>大会議室 | 1 テキストの活用法等の説明<br>2 研修デモンストレーション<br>「高知県委託事業 心のケアサポーター養成研修」<br>一般社団法人 高知県社会福祉士会<br>3 グループワーク・意見交換 | 福祉保健所 3 名<br>市町村 13 名<br>社会福祉協議会 5 名<br>地域包括 11 名<br>教育関係者 25 名・その他 2 名<br>合計 59 名 |

\*ワークショップ参加後、本テキストを活用し、ゲートキーパー研修を実施した市町村は2市町村、1福祉保健所、関係機関は県薬剤師会、社会福祉協議会であり、合計327名のゲートキーパー養成

につながった。

#### イ 市町村自殺対策事業の進捗および計画見直し支援に伴う市町村ヒアリング

令和４年度に自殺総合対策大綱が新たに改定されたことから、第２期高知県自殺対策行動計画及び市町村の自殺対策計画の見直しを図るとともに、地域の実情に応じた自殺対策の推進が一層求められている。そのため、計画の見直し時期にあたる市町村を中心に、主管課及び圏域の福祉保健所と市町村ヒアリングを実施した。

| 日時                                                                                                                                | 内 容                                                                                                                                     | 実施市町村                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①令和５年５月９、１５、１６日須崎福祉保健所管内<br>②同年５月１０日幡多福祉保健所管内<br>③同年５月２４日中央西福祉保健所管内<br>④同年６月２９日安芸福祉保健所管内<br>⑤同年６月３０日高知市保健所<br>⑥同年１０月２０日中央東福祉保健所管内 | １．「高知県第３期自殺対策行動計画」の見直しに関する説明について（障害保健支援課）<br>２．地域自殺対策の基本施策及び「自殺総合対策大綱」の重点施策事業について（精神保健福祉センター）<br>３．各市町村自殺対策事業の取組状況と課題の共有<br>４．意見交換・情報提供 | ①５市町村個別ヒアリング<br>②６市町村合同ヒアリング<br>③見直し年度にあたる１市個別ヒアリング<br>④見直し年度にあたる２市個別ヒアリング<br><br>⑤中核市の個別ヒアリング<br>⑥７市町村合同ヒアリング |

#### ウ 若者層対策（若者向けゲートキーパー研修）

若者を対象としたゲートキーパーの養成に取り組むとともに、若者からの相談に対して適切な対応や支援ができるよう、教職員を対象とした研修を実施した。

| 回 | 日時・会場                                                           | 内 容                                                                                                                                             | 受講者数                 |
|---|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1 | 令和５年８月３日（木）<br>13:30～15:30<br>高知大学（特別講義）                        | <若者向けゲートキーパー研修><br>・若年層の相談行動の特徴とゲートキーパーの役割<br>・自殺予防とメンタルヘルス<br>・自殺危機にある方の心理状態（当事者体験発表）<br>・自殺危機にある学生に直面したときの対応<br>・グループワーク 等<br>講師：精神保健福祉センター職員 | 大学生・教職員・事務員等<br>110名 |
| 2 | 令和５年１１月２９日（水）<br>13:30～15:00<br>高知工業高等専門学校（特別講義）<br>中央東福祉保健所と共催 |                                                                                                                                                 |                      |
| 3 | 令和５年１２月６日（水）<br>13:30～16:30<br>高知大学保健管理センター（特別講義）               |                                                                                                                                                 |                      |

#### エ 「児童・生徒のSOSの出し方に関する教育」指導案活用研修

小中高生を対象とする「SOSの出し方に関する教育」の推進が国の重点施策に位置づけられていることから、県教育委員会事務局の協力のもと、本授業の推進および学校と地域の連携体制の充実を目的とした市町村自殺対策担当者、教職員向けの研修を行った。

| 日時・会場                                                            | 内 容                                                                                                                                                                              | 参加者数                                       |
|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 令和 5 年<br>11 月 22 日（水）<br>13：00～15：00<br>保健衛生総合庁舎 5<br>階・オンライン参加 | 1. 「SOS の出し方に関する教育」の推進に向けた取組方針<br>とモデル事業の概要<br>講師：高知教育委員会事務局人権教育・児童生徒課<br>2. 「SOS の出し方に関する教育」のモデル指導案の紹介<br>講師：高知県立精神保健福祉センター<br>3. 授業実施校における実施体制構築の経過と授業効果等<br>講師：高知国際高等学校 サポート部 | 会場参加<br>11 名<br>オンライン参加<br>41 名<br>合計 52 名 |

オ 市町村・福祉保健所・関係機関等主催研修への技術支援（再掲）

自殺対策に関する研修会、ネットワーク会議、事例検討会等への技術支援・講師

| 派遣回数 | 16 回                                                                                                                                                                                                               |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 派遣内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関主催研修会等（教職員対象 5 回、学生対象 3 回）</li> <li>・市町村主催研修会、心のケア派遣（2 回）</li> <li>・福祉保健所主催連絡会、ネットワーク会（4 回）</li> <li>・関係団体主催研修（4 回）</li> </ul> <p>＊内容により精神保健福祉センター職員以外にも体験者が同行して実施</p> |

#### （４）自殺対策地域ネットワーク研修

##### ア 自殺未遂者支援

自殺未遂者や様々な生きづらさを抱える方たちにアプローチし、自殺予防及び自殺の再企図を防止できる地域づくりを進めていくためには、自殺予防に関わる人材の育成をはじめ、ネットワークの促進、効果的な啓発方法等、自殺の保護要因となるものが地域のなかに充実していくことが重要である。そのため、県内における安芸圏域の自殺予防ネットワーク会に札幌医科大学附属病院の河西先生をお招きし、自殺予防における地域づくりについて、先進地域の実践から学ぶ機会を安芸福祉保健所と共催で実施した。

| 回 | 日時・会場                                            | 内 容                                                                                 | 受講者数                 |
|---|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1 | 令和 5 年 11 月 2 日（木）<br>13:30～16:00<br>安芸市消防防災センター | 1. 講義「別海町から学ぶ自殺対策の取組～地域のネットワークづくりについて～」<br>講師：札幌医科大学医学部 教授 河西 千秋氏<br><br>2. グループワーク | 47 関係機関<br>参加者数 78 名 |

イ 「若者の自殺危機対応チーム」設置検討に関する関係者会議

近年、小中高生の自殺者数は過去最多の水準であり、自殺総合対策大綱においても学校と地域の支援者等が連携し自殺対策にあたることができる仕組みの構築について盛り込まれている。このため、学校や市町村等における様々な複雑困難ケースへの技術支援に対応できる、多職種の専門家で構成される「若者の自殺危機対応チーム」の設置に向けた関係者会を実施した。

| 回 | 日時・会場                                                 | 有識者委員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 令和6年2月8日（木）<br>18:30～20:30<br>高知城ホール2階小会議室<br>及びオンライン | <p>&lt;アドバイザー&gt;：厚生労働省指定法人・一般社団法人<br/>いのち支える自殺対策推進センター 地域連携推進部 4名</p> <p>&lt;関係者&gt;：</p> <p>①高知大学 医学部神経精神科学教室 特任教授 高橋 秀俊 氏<br/>②高知大学 医学部神経精神科学教室 特任助教 小松 静香 氏<br/>③高知医療センターこころのサポートセンター科長 永野 志歩氏<br/>④高知医療センターこころのサポートセンターソーシャルワーカー<br/>藤井 しのぶ氏<br/>⑤高知工科大学共通共有教室教授・高知県臨床心理士会会長<br/>池 雅之 氏<br/>⑥高知県弁護士会 あさひの風法律事務所弁護士 中島 香織 氏<br/>⑦高知県精神保健福祉士協会 会長 宮本 彰 氏<br/>⑧児童家庭支援センター 高知ふれんどセンター長 谷本 恭子 氏<br/>⑨高知県薬剤師会 理事 田村 昌士 氏<br/>⑩高知市教育委員会人権こども支援課<br/>⑪高知県教育委員会人権教育委員会児童生徒課<br/>⑫高知県子ども・福祉政策部 中央児童相談所</p> |

(5) 自死遺族支援

ア ひだまりの会

自死遺族が互いに想いを語り、安心して気持ちを分かち合える場として「ひだまりの会（自死遺族の分かち合いの会）」を実施した。

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 目 的   | 自死（自殺）により家族を亡くした方が、同じ体験をした者同士の集いの場で安心して想いを語り、苦しみや悩みを共有することで癒され、前に進むことができるように支援する。 |
| 内 容   | グループミーティング                                                                        |
| 開催回数  | 6回（偶数月第4木曜日） 奇数月は自助開催                                                             |
| 会 場   | 精神保健福祉センター グループ室                                                                  |
| スタッフ  | 精神保健福祉センター相談員、自殺対策専門員                                                             |
| 参 加 者 | 延人員 32人（新規5名） ※自助開催の参加人数を含まない。                                                    |

## 11 依存症対策（依存症相談拠点事業）

平成 30 年 4 月から、依存症相談拠点機関として、相談支援体制の構築を図るとともに、アルコール、薬物、ギャンブル等の様々な依存・アディクション関連問題に対応できる人材の育成や啓発、他機関との連携強化を目的とした取り組み等を推進している。

### （１）相談対応の状況

所内相談

|        |      |     |
|--------|------|-----|
| 相談受理件数 |      | 676 |
| 内<br>訳 | 来所相談 | 390 |
|        | 電話相談 | 286 |

※来所相談、電話相談は、5 精神保健福祉相談・心の健康相談（１）及び（２）から依存症に関する相談数を再掲

※電話相談については、薬物、アルコール、ギャンブル依存症、摂食障害の相談を計上

※来所相談については、上記に加え、ゲーム障害、その他の依存症を含めて計上

主な相談内容の内訳（来所相談）

※ひきこもり相談や自殺関連相談として来所のあったものを一部含む。

| アルコール | 薬物 | ギャンブル | ゲーム障害 | 摂食障害 | その他 | 計   |
|-------|----|-------|-------|------|-----|-----|
| 53    | 39 | 127   | 15    | 30   | 126 | 390 |

### （２）自殺・依存症対策ネットワーク会議（再掲）

高知県の自殺・依存症対策について、「地域包括ケアシステムの構築とアウトリーチ支援」をテーマに、高幡地域での先進的取組を共有するとともに、各関係機関との連携を強化・促進するため意見交換を行う等、「自殺・依存症対策ネットワーク会議」を開催した。

### （３）アディクション・フォーラム高知

一般県民を対象に、多様化するアディクション等関連問題についての正しい知識と、地域の取組等の情報発信を行い、回復支援について考える機会とするための普及啓発事業を開催した。また、会場参加者へ「依存症当事者・家族・支援者のための相談窓口ガイド」を配布し、県内依存症自助グループや民間団体、支援機関などの情報発信のためリーフレットやポスターなどを展示した。

| 日時・会場                                                                   | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                     | 参加者数                                            |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 令和 5 年 9 月 16 日（土）<br>10:00～16:00<br>こうち男女共同参画センター ソーレ 3 階<br>※ハイブリッド開催 | <b>【講演】</b><br>（１）「依存症という病気の理解」<br>高知大学医学部神経精神科学教室 病院助教<br>精神科医 森田 啓史 氏<br>（２）「リカバリー（回復）に大切なこと」<br>NPO 法人いちごの会<br>統括施設長（精神保健福祉士）佐古 恵理子 氏<br>生活支援員（介護福祉士）渡邊 洋次郎 氏<br><b>【地域からのメッセージ】</b><br>（１）取組報告<br>高知保護観察所 保護観察官 金子 尚樹 氏<br>（２）模擬例会・ミーティング<br>NPO 法人高知県断酒連合会、AA グループ | 137 名<br>（会場参加<br>74 名<br>オンライン<br>申込者<br>34 名） |

|  |                                                                                                                                                                                                                                 |  |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  | (3) 活動報告<br>ACODA ベイビーステップ高知<br>ギャマノン土佐よさこいグループ<br>(4) 体験談<br>GA 土佐ピアグループ<br>NA 高知・きょうだけグループ<br>(5) トークセッション：NPO 法人いちごの会 統括施設長（精神保健福祉士）佐古 恵理子 氏、生活支援員（介護福祉士）渡邊 洋次郎 氏、高知大学医学部神経精神科学教室 病院助教 精神科医 森田 啓史 氏、海辺の杜ホスピタル、土佐病院、県内自助グループ等 |  |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

※上記事業の企画運営のため、実行委員会を開催（全3回、委員メンバー：11 関係機関、7 自助グループ、1 民間団体）

#### （４）様々な依存問題をもつ方の家族支援プログラム

様々な依存問題をもつ方の家族が、病気の正しい知識を習得し、同じ立場の家族同士で学び合う場を提供する。

- ・スタッフ：精神保健福祉センター相談員 2 名
- ・会場：保健衛生総合庁舎 1 階 グループ室 I

| 回 | 日 時                                | テーマ等                                                                                            | 参加者  |
|---|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 令和 5 年 5 月 29 日（月）<br>14:00～16:00  | 「依存症ってどんな病気？」                                                                                   | 2 名  |
| 2 | 令和 5 年 7 月 24 日（月）<br>14:00～16:00  | 「問題行動の背景について考える」                                                                                | 1 名  |
| 3 | 令和 5 年 9 月 25 日（月）<br>14:00～16:00  | 「コミュニケーションスキルの改善」                                                                               | 1 名  |
| 4 | 令和 5 年 11 月 27 日（月）<br>14:00～16:00 | 「共依存とはなにか」                                                                                      | 2 名  |
| 5 | 令和 6 年 1 月 22 日（月）<br>14:00～16:00  | 「家族自身の生活を豊かにするために」                                                                              | 0 名  |
| 6 | 令和 6 年 3 月 19 日（火）<br>14:00～16:00  | <b>【外部講師による勉強会】</b><br>テーマ「依存症問題にとらわれない家族間の関係構築のために」<br>講師 原宿カウンセリングセンター<br>臨床心理士・公認心理師 高橋 郁絵 氏 | 13 名 |

#### （５）依存症相談拠点事業 依存症相談支援基礎・フォローアップ研修会

市町村や関係機関職員を対象に、依存症対応のスキルアップのための研修を実施した。

| 日時・会場                                                                  | 内 容                                                                                                                            | 参加者                                       |
|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 令和 5 年 11 月 22 日（水）<br>15:00～17:00<br>保健衛生総合庁舎 5 階<br>会議室<br>※ハイブリッド開催 | <b>【依存症相談支援研修会（基礎編）】</b><br>講義<br>「“助けて”が言えない子どもたちー市販薬のオーバードーズを例にー」<br>講師<br>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所<br>薬物依存研究部心理社会研究室長 嶋根 卓也 氏 | 86 名<br>（会場参加<br>45 名<br>オンライン参加<br>41 名） |

|                                                                              |                                                                                                                        |      |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 令和5年11月17日（金）<br>13:00～15:30<br>医療法人つくし会在宅医療<br>支援センター 4階 ホール<br>共催：中央東福祉保健所 | 【中央東福祉保健所管内依存症相談支援研修会】<br>（1）講義<br>「依存症の理解と対応～病気への気づきと症状の理解～」<br>講師 南国病院 精神科 石田 青鳥 氏<br>（2）体験談・活動紹介<br>NPO 法人高知県断酒連合会  | 37 名 |
| 令和6年3月19日（火）<br>9:30～12:30<br>のいち青少年センター<br>青少年ホール                           | 【依存症相談支援研修会（フォローアップ編）】<br>テーマ「動機づけ面接のイメージとエクササイズ～ロールプレイを通じて動機づけ面接を体感してみよう～」<br>講師 原宿カウンセリングセンター<br>臨床心理士・公認心理師 高橋 郁絵 氏 | 19 名 |
| 令和6年3月19日（火）<br>14:00～16:00<br>のいち青少年センター<br>青少年ホール                          | 【依存症家族支援勉強会】（再掲）<br>テーマ「依存症問題にとらわれない家族間の関係構築のために」<br>講師 原宿カウンセリングセンター<br>臨床心理士・公認心理師 高橋 郁絵 氏                           | 16 名 |

#### （6）依存症セルフヘルプグループ見学会

市町村や関係機関などの支援者を対象に、自助グループの例会やミーティングに参加することで自助グループの活動を知り、また意見交換をすることで連携強化を図るために実施した。

| 日時・会場                                                      | 内 容                                      | 参加者  |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------|
| 令和5年10月15日（日）<br>10：00～12：00<br>土佐市複合文化施設つないで              | ギャマノン土佐よさこいグループ<br>（ギャンブル依存症の家族）         | 0 名  |
| 令和5年10月19日（木）<br>13：00～15：00<br>高知県断酒新生会事務所                | 高知県断酒連合会（アルコール依存症当事者）<br>※アルコール関連問題関係者会議 | 9 名  |
| 令和5年10月25日（水）<br>13:30～15:00<br>高知ダルク・インテグレーション            | 高知ダルク・インテグレーション（薬物依存症当事者）                | 7 名  |
| 令和5年11月1日（水）<br>13:30～15:00<br>高知市勤労者交流館 2階 会議室            | 全国薬物依存症家族会連合会高知支部<br>（薬物依存症家族）           | 5 名  |
| 令和5年11月16日（木）<br>14:00～15:30<br>こうち男女共同参画センターソーレ<br>5階 和室  | AA グループ（アルコール依存症当事者）                     | 13 名 |
| 令和5年11月22日（水）<br>19：00～20：30<br>江ノロカトリック教会ボランティア<br>ビューロー  | NA 高知グループ・きょうだけグループ<br>（薬物依存症当事者）        | 3 名  |
| 令和5年11月26日（日）<br>14：00～16：00<br>高知市男女共同参画センターソーレ<br>3階 研修室 | GA 高知グループ（ギャンブル依存症当事者）                   | 5 名  |
|                                                            | ギャマノン高知（ギャンブル依存症の家族）                     |      |

(7) アルコール関連問題関係者会議（再掲）

NP0 法人高知県断酒連合会の協力のもと、自助グループ見学会にて精神科医療機関をはじめ各関係機関や自助グループの相談対応状況や取組等について情報交換を行い、県内の連携強化のために意見交換等を行った。

| 日時・会場                                       | 内 容                     | 参加機関数 |
|---------------------------------------------|-------------------------|-------|
| 令和5年10月19日（木）<br>13：00～15：00<br>高知県断酒新生会事務所 | 高知県断酒連合会の見学会にて、関係機関意見交換 | 6 機関  |

(8) 市町村・福祉保健所・関係機関等主催研修への技術支援（再掲）

|      |      |
|------|------|
| 派遣回数 | 10 回 |
|------|------|

令和6年度 精神保健福祉センター予算の概要

(千円)

| 6年度事業名  |              |                   | R6     | 内容                                                                                                                                      |
|---------|--------------|-------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 予算計上課   | 細目事業名        | 細々目事業名            | 当初予算   |                                                                                                                                         |
| 薬務衛生課   | 薬事指導取締事業費    | 薬物乱用対策新五か年戦略推進事業費 | 310    | 職員研修負担金、事務費（報償費、その他事務費（旅費、需用費、役務費））                                                                                                     |
| 障害保健支援課 | 精神保健対策費      | 依存症対策事業費          | 977    | 依存症対策事業報償費、その他事務費（旅費、役務費、委託料、使用料）                                                                                                       |
| 障害保健支援課 | 精神保健対策費      | 依存症相談拠点機関事業費      | 1,107  | 職員研修負担金、事務費（依存症相談拠点機関事業報償費、その他事務費（旅費、需用費、役務費、使用料））                                                                                      |
| 障害保健支援課 | 自殺対策費        | 自殺対策推進センター事業費     | 9,257  | 健康診断委託料、職員研修負担金、事務費（会計年度任用職員報酬・手当等・共済費・通勤手当相当、その他事務費（旅費、需用費、役務費））                                                                       |
| 障害保健支援課 | 自殺対策費        | 自殺対策担当者等人材養成事業費   | 334    | 事務費（自殺対策担当者等人材養成事業報償費、その他事務費（旅費、需用費、役務費））                                                                                               |
| 障害保健支援課 | 自殺対策費        | 自死遺族支援事業費         | 358    | 事務費（自死遺族支援事業報償費、その他事務費（需用費、役務費、使用料））                                                                                                    |
| 障害保健支援課 | 自殺対策費        | 自殺未遂者支援事業費        | 731    | 職員研修負担金、事務費（報償費、その他事務費（旅費、需用費、役務費、使用料））                                                                                                 |
| 障害保健支援課 | 精神保健福祉センター費  | 管理運営費             | 6,585  | 職員研修等負担金、事務費（その他事務費（旅費、需用費、役務費、公課費））                                                                                                    |
| 障害保健支援課 | 精神保健福祉センター費  | 思春期精神保健事業費        | 462    | 事務費（思春期精神保健事業者講演会講師謝金）その他事務費（旅費、需用費、役務費、使用料）                                                                                            |
| 障害保健支援課 | 精神保健福祉センター費  | 精神医療審査会費          | 26,964 | 職員研修等負担金、事務費（精神医療審査会委員報酬、手数料、その他事務費（旅費、需用費、役務費、使用料））                                                                                    |
| 障害保健支援課 | 精神保健福祉センター費  | 精神障害者保健福祉手帳等交付事業費 | 20,079 | 申請データ入力等委託料、精神保健業務電算管理システム再構築等委託料（精神保健業務電算管理システム保守管理委託業務・マイナンバー点検対応）、事務費（会計年度任用職員報酬・職員手当等・共済費・通勤手当相当、審査委員報償費、その他事務費（需用費、役務費、使用料、備品購入費）） |
| 障害保健支援課 | 精神保健福祉センター費  | 心の健康づくり相談事業費      | 3,131  | 事務費（心の健康づくり相談経費、会計年度任用職員通勤手当相当、その他事務費（需用費））                                                                                             |
| 障害保健支援課 | 精神保健福祉センター費  | 地域精神保健福祉推進事業費     | 69     | 事務費（その他事務費（旅費、需用費、役務費））                                                                                                                 |
| 地域福祉政策課 | ひきこもり自立支援対策費 | ひきこもり地域支援センター事業費  | 13,231 | 健康診断委託料、職員研修等負担金、事務費（会計年度任用職員報酬・職員手当等・共済費・通勤手当相当、関係機関連絡会議話題提供者謝金、普及啓発・研修・居場所づくり報償費、障害保険料、その他事務費（旅費、需用費、役務費、使用料））                        |